

みずほCustomer Desk Report 2025/08/27号 (As of 2025/08/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.16
TKY 9:00AM	147.83	1.1615	171.68	1.3451	0.6482
SYD-NY High	147.90	1.1665	172.10	1.3493	0.6500
SYD-NY Low	146.99	1.1603	171.34	1.3435	0.6471
NY 5:00 PM	147.45	1.1642	171.61	1.3479	0.6495
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	45,418.07	22.50	日本2年債	0.8700%	0.0000%
NASDAQ	21,544.27	94.98	日本10年債	1.6200%	0.0100%
S&P	6,465.94	26.62	米国2年債	3.6810%	▲0.0414%
日経平均	42,394.40	▲ 413.42	米国5年債	3.7449%	▲0.0394%
TOPIX	3,071.99	▲ 33.50	米国10年債	4.2644%	▲0.0116%
シカゴ日経先物	42,515.00	▲ 35.00	独10年債	2.7209%	▲0.0368%
ロンドンFT	9,265.80	▲ 55.60	英10年債	4.7390%	0.0495%
DAX	24,152.87	▲ 120.25	豪10年債	4.3210%	0.0300%
ハンセン指数	25,524.92	▲ 304.99	USDJPY 1M Vol	9.16%	0.14%
上海総合	3,868.38	▲ 15.18	USDJPY 3M Vol	9.31%	0.07%
NY金	3,433.00	15.50	USDJPY 6M Vol	9.38%	0.05%
WTI	63.25	▲ 1.55	USDJPY 1M 25RR	▲1.13%	Yen Call Over
CRB指数	298.46	▲ 3.25	EURJPY 3M Vol	8.15%	0.02%
ドルインデックス	98.23	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	8.47%	▲0.03%

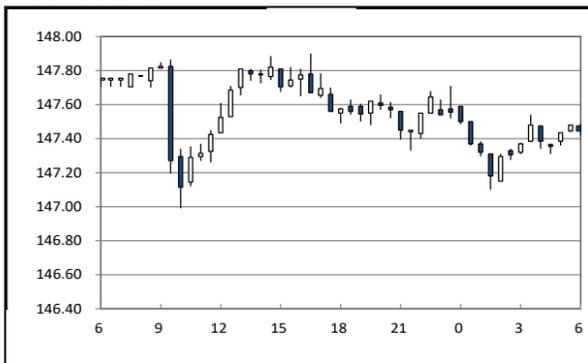
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月26日	08:15	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	グローバルな人口動態や生産性向上のトレンドは反転していない	
	13:01	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	経済は緩やかな動きに留まるとみている。	
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	7月 -2.8%	-3.8%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	7月 1.1%	0.2%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	8月 97.4	96.5

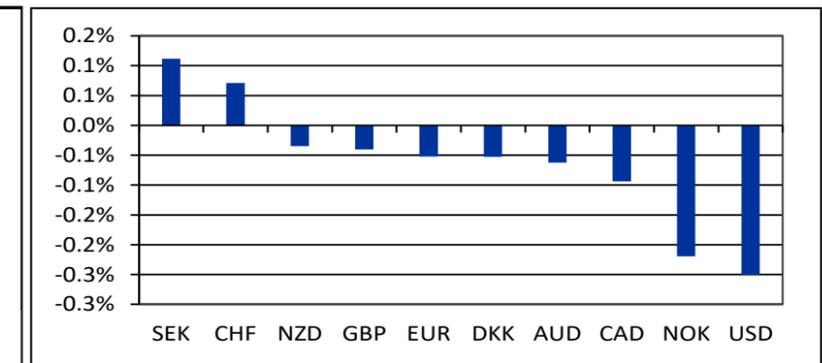
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月27日	10:30	豪 CPI(前年比)	7月 2.3%	1.9%
	10:30	豪 CPIトリム平均値(前年比)	7月 -	2.1%
	13:01	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.70-147.90	1.1600-1.1680	170.50-172.30

【マーケット・インプレッション】

本日ドル円は上値の重い推移を予想。昨日のクック理事解任報道については同氏が訴訟を提起する意向を示しており、FRBも裁判所の判断に従うとしていることから時間を要す可能性があるものの、クック理事の住宅ローン申請疑惑が根本にありFRBへの信頼が揺らぎかねない事象であること(ベッセント財務長官は「国民の信頼こそがFRBに信頼性を与える」とコメント)、また昨日はトランプ大統領がクーグラーFRB理事の後任として暫定就任したミラン氏を長期ポストに切り替える可能性も示唆しており、次期FRB議長への思惑含めFRBへの独立性懸念も根強い。米金利は短期的に利下げバイアスがかりやすい一方超長期ゾーンにかけてはそうした懸念から売られやすく金利スティープニング圧力がかりやすい印象。ドル離れが再開していく可能性も見据えドルは軟調な値動きを予想。米株は明日東京早朝のエヌビディア決算待ちであり、為替も米国連休も前に動意には欠け、大きな値崩れは想定しづらいものの、ドル円は総じて上値の重い展開を見込む。

東京	東京時間のドル円は147.83レベルでオープン。直後にトランプ米大統領によるクックFRB理事解任表明を受け、ドル売りが加速一時147円を割り込んだ。ただし、ドル売りが一巡すると、クックFRB理事が辞任しない意向を示したこともあり、朝方と同水準の147円台後半まで回復。結局、147.75レベルで海外時間へと渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円は147.75レベルでオープン。東京時間終盤のドル売りの流れを引き継ぎ147.90まで上昇したが、その後は売りが一巡すると147円台半ばまで下落。結局147.44レベルでNY時間へと渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は午前中に発表された米8月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を上回った事を受け、147.71まで買われる。しかし、その後はクックFRB理事の解任を巡る報道を背景に、米金利の低下と共に147.10まで反落。午後は下げ渋り、147.30付近を挟んだ推移が続き、147.45レベルでクローズ。一方、ユーロドルはフランス政府の政局不安を背景とした独金利の低下が重しとなり、1.1650付近を挟んだ上値重い推移。午後は材料難の中、1.1640付近を中心とした推移が続き、1.1642レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。